



## 4月 「自分から関係を求めていくことの大切さ」

校長 藤田 賢一郎

保護者、地域の皆様にご支援をいただき、よい年度始めとなりました。ありがとうございます。

始業式では、同学年として新たな出会いをした1年生、出会いの幅を広げゆく2、3年生に、自分から関係を求める充実した年度にしてほしいとの願いを込め、次のように語りかけました。

黒柳徹子さんは、長年にわたり活躍する芸能人、日本で一番売れた書籍(800万部)「窓ぎわのトットちゃん」の著者、そして、ユニセフ親善大使として知られている方です。黒柳さんの書かれた「父の言葉」の一部を紹介します。

### ——「父の言葉」 抜粋——

私は、小学生になるほんのちょっと前、結核性股関節炎という重い病気で入院した。石膏のギブスを、お腹から足のつま先までグルグル巻きにはめられて、上を向いて寝ているだけの生活が3か月続いた。でも、私は子供だったから何の心配もせず、胸の上でお人形さんごっこをしたり、本を読んだりしていた。そのとき父と母は、お医者様から「治っても走ることはできません。松葉づえがなければ歩くこともできないでしょう」と言われていた。

そんなとき、私のとなりの病室に、私と同じくらいの年で同じ病気の女の子がいることを知った。丸顔の私とは反対の、面長で目鼻立ちのはっきりしたかわいい子だった。

話をしたわけでもなく、たまに治療のため、どこかに移動させられるときなどに顔を合わせた程度。でも私は、「同じ病気の子」ということで、その子のことをよく覚えていた。

私は退院した。ギブスを取って細くなった足に電気をかけて治療したり、温泉に行ったりして、奇跡的に松葉づえなしで歩くことができるようになった。運が良かった。

退院後しばらくして、私が道を歩いて行くと、向こうから赤い松葉づえをついた女の子が来た。よく見ると、あの病院にいた女の子だった。目が合った。松葉づえのその子は、私の、何も

つけていない足を見た。そして、私たちは何も言わずにすれ違った。

そのとき以来、私はその赤い松葉づえの子が見えると隠れた。松葉づえなしでも歩ける自分を、その子に見せたくなかった。その子の気持ちを思うと、たまらなかった。

あるとき、私は父と散歩をしていた。そのとき、赤い松葉づえが見えた。私は父を引っ張って隠れた。父は私に「どうしたの?」と聞いた。私は父に説明した。「隠れていないで近くに行って、お話してきなさい」6歳の私に、父はそう言った。でも、私にはそのときは、どうしても勇気が出なかった。

やっと決心がついたころ、戦争が激しくなり、その子の姿も見えなくなった。

今、私が世界中の困っている人を助けようとしていること、福祉やユニセフのこと、考えてみると出発点は、6歳のときの父の言葉、「行ってお話してきなさい」ではなかったかと、今になって、やっと私は気がついた。——

みなさん、黒柳さんはお父さんの言葉から何を学んだのでしょうか。「自分から関係を求めていくことの大切さ」を学んだのではないのでしょうか。

令和3年度が始まりました。新しい友人、新しい教職員、よく知っているけれど昨年度よりちょっと大人に見える友人。みなさんの周りの多くの人たちに、ぜひ、自ら近づいて、自ら話しかけて、自ら心に寄り添って、そんな「自分から関係を求めていく」充実した年度にしましょう。

新たな出会いに、心を躍らせている生徒、不安を感じている生徒、心模様は様々です。私たち教職員は、全校生徒が「自分から関係を求めていくこと」を大切に、難しいと感じても勇気を出して人と関わり、相手の立場に立って行動する中で、大きく成長してほしいと願っています。

教職員も、新たな出会いに感謝しながら、誠心誠意、教育活動に取り組みます。

保護者、地域の皆様、今年度も温かなご支援を、どうぞよろしく願いいたします。

# 祝 第75回入学式

令和3年4月7日(水)に、第75回入学式を行いました。今回の進行は、3年生の さんと さん。先輩のさわやかな声に導かれて、新入生が希望に満ちた瞳で入場しました。式中の学級担任の呼名では、新入生1人1人の大きな「はい!」の声が体育館に響きました。新入生誓いの言葉は、 さん、歓迎の言葉は生徒会長の さん。二人とも立派に大役を務めました。新入生、在校生ともに、堂々とした立派な立ち居振る舞いが輝いた1時間。1年のスタートにふさわしい、温かみのある式となりました。



進行を務めた さん、 さん。明るく温かいアナウンスで、入学式を支えました。



入学式後に、PTA入会式が行われました。



## 新入誓いの言葉 新入生代表 さん

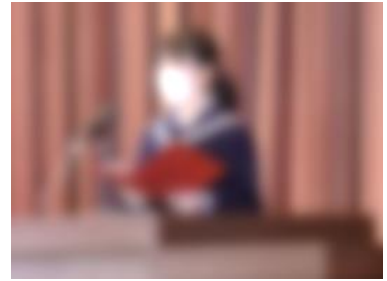
板倉中学校の皆さん、こんにちは。山部小学校出身の さんです。

暖かな春の訪れとともに、私たちは今日、板倉中学校に入学しました。厳しいコロナ禍でも、今日の日を迎えることができ、喜びと期待で胸がいっぱいです。私は、中学校生活を始めるにあたってがんばりたいことが二つあります。

1つ目は、学習です。中学校では、教科が増え、内容も難しくなります。授業にしっかりついていけるように、集中して学習に取り組みたいです。また、家庭学習も毎日七十分を目標にして、予習と復習をがんばりたいです。2つ目は、部活動です。私はスポーツが大好きなので、運動部に入りたいと思っています。これまでは、自分で目標を決めて努力したことがあまりなかったような気がします。ですから、部活動では、自分から進んで様々なことにチャレンジし、先輩や同学年の仲間と協力し、目標に向かって努力していきたいです。

校長先生はじめ先生方、先輩の皆さん、保護者・地域の皆様、私たち新入生は、伝統ある板倉中学校の生徒としての自覚をもち、夢や目標に向かってがんばることを誓います。これから、よろしくをお願いします。

## 歓迎の言葉 生徒代表 生徒会長 さん



通学路の景色が白から桜色へ変わってきました。暖かな春の到来です。新しい季節の訪れとともに、期待と希望を胸に板倉中学校の校門をくぐった五十九名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

私たちはこの日を心待ちにしていました。

私がみなさんと初めて出会ったのは二月の新入生説明会の日です。まだ小学生だったみなさんは、期待よりも不安が大きいようで、ドキドキしながら説明を聞いたり、体験授業を受けたりしていたように見えました。あれから二か月がたちました。この二ヶ月の間にみなさんは入学のために沢山の準備をしてきたことと思います。新しい制服、新しいカバン、新しい教科書。特に、「これからは中学生だ。」という、心の準備をしてきたことが、今のみなさんの表情から伝わってきます。これからは中学生としてがんばるんだ、という決意にあふれています。

今日からみなさんは、板倉中学校の一員です。そこで、みなさんに先輩として、二つ、アドバイスをします。

一つ目は、「信頼できる仲間を作り、誰とでも協力できる関係を作る」ということです。そうすることで、学校生活への不安や心配のほとんどがなくなります。

今、みなさんが気軽に話しかけることができる相手は、きっと同じ小学校出身の人たちでしょう。そこでまず、自分の席の近くの、自分とは違う小学校出身の人に、勇気を出して話しかけてみましょう。話しかけることは、勇気がいらいます。ですが、自分自身が先に心を開けばきっと応えてくれます。これを続けていけば自然と信頼できる仲間を作ることができます。私もそうでした。勇気をもってあいさつをしたら、その人は私をしっかりと見つめ、明るくあいさつを返してくれました。とても嬉しかったです。みなさんも、自分から話しかける勇気を持ちましょう。

そして、その関係が広がっていくと、行事などでクラスや学年の団結が必要となった時に、一致団結してまとまることができます。そうすれば行事は大成功です。その行事はみなさんの大切な思い出にな

ります。

また、誰とでも協力することができるクラスや学年なら、きっといじめなんて起こらず、一人一人が充実した中学校生活を送ることができるはずです。

二つ目は、「自分で考えて行動する」ということです。中学校では、自分で考えて行動する場面が多くなります。委員会活動では、自分ができる仕事を見つけ、自分から行動することが必要です。体育祭や合唱祭などの行事では、仲間や先輩と協力して、自分たちの力で様々なことを乗り越えなければなりません。

ですが、みなさんはまだ一年生です。失敗したり、わからないことがあったりすると思います。そんなときは、一人で悩まず、是非、私たちに頼ってください。私たち先輩だけでなく、みなさんの周りには友達、先生、そして家族、地域の方々など、みなさんの味方がたくさんいます。きっとみなさんを行い方に導いてくれるはずです。

信頼できる仲間を作り、誰とでも協力できる関係を作ること。そして、自分で考えて行動することが、中学校生活をより豊かにする方法です。以上が、私からの新入生のみなさんへのアドバイスです。

これらのことは簡単なようで意外に難しいことばかりです。ですが、みなさんの中学校生活はスタートしたばかりです。私たち二、三年生も、よりよい学校生活を目指し、日々、努力し、成長している途中です。少しずつでいいので、努力を続け、一緒に頑張っていきましょう。

これからみなさんの中学校生活がスタートします。板倉中学校で出会った五十九名の仲間と共に、三年間支え合い、励まし合っていきましょう。そして、中学校生活をよりよいものにしていきましょう。

私たちは、みなさんが早く学校生活に慣れることができるように、全力でサポートします。困ったことがあったら、遠慮なく相談してください。

最後に、みなさんの中学校生活が充実したものになることを願い、歓迎の言葉といたします。

## 「花いっぱい運動」の花が満開です。

昨年秋に、当時の3年生が取り組んだ「花いっぱい運動」。地域の皆さんに喜んでいただいています。

「花いっぱい運動」では、当時の3年生が、板倉区青少年育成会のご支援をいただきながら、1人1プランターを目安に作成しました。区内の事業所の方々にプランターを飾っていただくお願いをしながら、花のプランターを通して地域の方との交流を深めようというねらいで中学生が企画しました。初めての取組でしたが、地域の皆様の温かい支えにより、置かせていただいたプランターを事業所のWEBサイトに掲載いただいたり、受け渡しをしたときに中学生と一緒に記念撮影をしてくださる事業所の方がいらっしゃったりで、「やってよかった」

「私の故郷はよいところ」と多くの中学生が感じる取組にさせていただきました。

先日郵便局の方から、「お客さんが、中学生の持ってきてくれたプランターの花を見て、『きれいですね』と喜んでくださり、嬉しかったです。」というお話を伺いました。私たち中学校職員も、とても嬉しい気持ちになりました。地域の皆様の、板中生に対する支えと愛情に深く感謝申し上げます。



## 「校門脇の芝桜」も、きれいに咲き始めました。

昨年度秋に、花いっぱい運動のプランターづくりと一緒に取り組んだもう一つの活動です。「うちの学校にも芝桜を…」という生徒とPTAの熱い思いで取り組んだ企画が形になり、校門脇に1年目の花が咲きはじめました。

ここ何年間かにわたり、板倉中学校の先輩方が地域とのつながりを深めるために取り組んできた「やすらぎ荘の芝桜の苗植え」を見習い、昨年度は、中学校の敷地内にも芝桜を植える取組を行いました。やすらぎ荘の方から教えていただき、また、平日にもかかわらず多くの保護者の皆様にお力添えいただきながら頑張りました。卒業した3年生はじめ、取り組んでくださった方々の思いが校門脇の花壇から伝わってきます。



## 新たな年を新たな環境で、志をもって迎えています！

### 1年生：交通安全教室

生活環境が変わり、通学路も変わった1年生。自転車通学も初めてであることから、今一度交通安全を考え、命を大切にしなければならないことを再認識する機会をもちました。



### 2年生：仲間づくり活動

クラス替えが行われて新しい学級になり、新しい環境の中で自分自身を高めることができるように、まずは仲間づくりに取り組みました。



### 3年生：最高の学年に

総合的な学習の時間では、2年生の時に引き続き、「戦争と平和」について考えています。昨年度の冬休みから「身近な戦争と平和」をテーマに探求を続け、先日、その第2回目のプレゼン大会（セミ・グランプリ大会）を行いました。仲間の発表を聞き、発表後に意見交換をしました。「戦争と平和」について真剣に考えることができました。

また、新しく決まった級長会が企画・運営をし、学年レクリエーションを行いました。リーダーの指示で積極的に動き、活動を自分たちで盛り上げる姿勢が出てきています。先輩として、板倉中学校をよりよい学校にしようと真剣に取り組む様子が伝わってきます。



セミ・グランプリ大会の様子



学年レクの様子

# 令和3年度 職員紹介

## ◎1 学年部紹介

丸山 徹也（社会 学年主任・1組担任 バレーボール部）  
鶴巻 華恵（英語 2組担任 吹奏楽部）  
岡田 明（音楽 英語 特別支援学級担任 吹奏楽部）  
増村真紀子（技術・家庭 特別支援学級副任 バドミントン部）



「向上心と思いやり」を合言葉に、自身の成長と学校生活を送る仲間の成長を大切にできる学年集団になってほしいと願っています。世の中では、2030年に向けた重要な10年になるといわれています。自分自身の一歩が世の中を変える。そして、3年後には世の中に主体的にかかわれる人に・・・壮大な思いを一人一人がもてるように全力で応援します。（丸山徹也）

## ◎2 学年部紹介

金子 均（理科 学年主任 野球部）  
諏訪加代子（保健体育 1組担任 バレーボール部）  
藤原 明子（数学 2組担任 卓球部）  
古山 圭太（理科 2年副任 バドミントン部）



2年生の合言葉を今年も「誰とでもチーム」としました。この言葉は、「好きな人だけでなく、苦手な人とも普通にかかわることができるし、いっしょに活動することができる」ことを意味します。いっしょに活動していると、苦手な人の良い面を見つけて苦手度が減っていくかもしれません。そんなスキルを生徒には身に付けてもらいたいと思っています。（金子 均）

## ◎3 学年部紹介

安藤 正人（英語 学年主任 陸上競技部）  
大野 貴之（社会 1組担任 卓球部）  
飯塚 尊子（保健体育 2組担任 陸上競技部）  
竹田 雅代（国語 3組担任 バドミントン部）  
望月 慶理（技術・家庭 3年副任 野球部）



「成長」をキーワードに着実に歩みを進めてきた3年生です。2年生の後半から学校のリーダーとなるべく準備を進め、いよいよ最終学年となりました。今年度求めるのは「覚悟」。学年目標も「夢・志、そして覚悟～その歩みを止めるな!」としました。悔いのない1年を過ごしプライドと決意をもって、胸を張って卒業、そしてその先の未来に踏み出しましょう。全力で応援します！（安藤正人）

## ◎4 学年部紹介

藤田賢一郎（校長 学校経営）  
黒田 匠（教頭 渉外 PTA 数学）  
丸山 徳子（教務主任 国語 生活文化部）  
田篠奈緒子（養護教諭 学校保健 生活文化部）  
牛腸 寿美（栄養教諭 給食 食育）  
藤橋 聖子（事務職員 学校庶務 経理）  
嶋岡真理子（教育補助員）  
竹田 梓（教育補助員）  
横山 重一（用務員 学校環境整備）



保護者や地域の皆様、1・2・3 学年部職員と手を携え、生徒の健やかな成長を導いていけるよう、それぞれの職務の特性を活かして、板中生のために誠心誠意努力します。（黒田 匠）

# 自分を語ろう、仲間を知ろう ～道徳科授業開き～

4月14日（水）、全校一斉に道徳科の授業開きを行いました。

板倉中学校の道徳科は「互いの考えを進んで伝え合い、考えを深めていこう」を目標に進めています。

道徳科の授業開きでは、学級担任から「道徳科の授業を通して学んでほしいこと」を伝え、早速互いの考えを伝え合う活動を行いました。今回は、授業の様子と、生徒の感想の一部を紹介します。

## 1年生 サイコロトーク

6つのテーマが用意され、1人1人サイコロを振り、出た目のテーマについて、語り合いました。笑顔で、身を乗り出して聞き合う姿が印象的でした。



サイコロトークをして、みんなのことを知ることができたので、これからもどんどん仲を深めていきたいと思いました。「耳と目と心で聴く」ということが一番心に残りました。

さん



友達のエピソードを聞いて、共感できてうれしかった。また、前よりも目を見て話せて、楽しく過ごせた。いろいろな話があって、いろいろなことが知れた。またやりたいです。

さん

## 2年生 生きる上で最も大切なものは？

いつもは耳だけで話を聞いていたけど、これからは、耳と目と心で「聴く」ようにしたいと思いました。①②③④のどれもが大切だったけど、みんなの意見を聴いてちょっと自分の考えが変わったので、他の人の意見も大切にしたいと思いました。

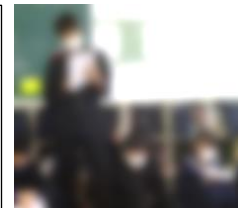
さん



①自分の命、②家族、③友だち、④夢をかなえる、⑤その他の中から「生きる上で最も大切なもの」を1つ選び、理由を入れて、考えを伝え合いました。2年生は、教室で輪になり、1人1人の話を聞き合いました。少し照れくさそうにしながらも、1人1人が自分の考えを仲間をしっかり伝えていました。

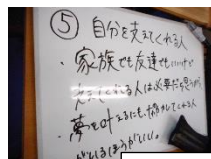
今日は自分の考えをもち、そしてみんなの意見を聞いて、いろんな考えと向き合うことができました。自分の思ったことを上回るみんなの意見に、すごく納得することができました。さんの「周りの人の命」という意見がすごく良いなと思いました。自分の意見とは違った理由と意見で、聞けてよかったなと思いました。

さん



## 3年生 生きる上で最も大切なものは？

3年生も、2年生と同じテーマで語り合いました。同じものを選んだ人同士で理由をホワイトボードにまとめ、発表し合いました。発表ごとに、「おおーっ」という感嘆の声が上がったり、自然に拍手が起こったりなど、終始和やかな雰囲気の中で、活動が行われていました。



家族が一番だと自分の中では思っていたけど、クラスみんなは全く違う考えだったので、発見もあったし、深めることができました。また、今日の課題はどれも大切なものばかりだったので、じっくり考えることができました。改めて生きていくためには、1つのことだけではダメだということがわかりました。

さん

感情をもっていて、その感情を伝えられるのは人間しかできないから、感情は大切だと思った。自分を大切にしないと相手を大切にできないと言っている人もいて、すごくいいなと思いました。でも、やっぱり人とかかわることが人間にとって一番大切かなと思います。

さん

みんないろいろな考えがあったけれど、やっぱり僕は「家族」です。家族がいるから全てにつながるし、一番付き合いが長く頼りにしている存在でもあります。そして、支えになってくれています。僕は本当に家族に感謝しています。その感謝を、何かの形で恩返しできるようにしていきます。

さん

自分の好きなもの、家族、友達は、自分の命ありきなことで、やはり、命を大切にしていきたいと思いました。大切なものが多ければ多いほど、人生は豊かになるし、生きようと思えます。自分が誰かの大切な人になって、他の人の人生を豊かにしていければいいなと思います。

さん

道徳の授業は、自分が思ったことをバンバン言って、みんなと良い話し合いができるので、楽しいです。

さん

## 転退職職員紹介「これまでお世話になりました。」

8名の職員が、転退職することとなりました。これまで皆様から頂戴しましたご指導ご鞭撻を新しい勤務先でも生かしてがんばります。長い間、ありがとうございました。

氏名	前任校等	氏名	前任校等
廣瀬 清彦	定年退職。再任用で上越市立牧中学校へ	石野 幸子	定年退職。再任用で上越市立三和中学校へ
大島 通夫	妙高市立新井中学校へ	上田 貴之	柏崎市立東中学校へ
古澤 徹	上越教育大学大学院へ	三山 裕基	県立津南中等教育学校へ
及川 清子	新採用教諭として糸魚川市立糸魚川中学校へ	梅川 幸裕	長野県飯山市立城北中学校へ

## 転入職員紹介 ～お世話になります～

板倉中学校に新たに8名の職員を迎え、令和3年度がスタートします。これまでと変わらぬご支援をお願いいたします。

氏名	前任校等	氏名	前任校等
岡田 明	上越市大潟町中学校	田篠奈緒子	上越市立三和中学校
丸山 徹也	上越市立城東中学校	増村真紀子	板倉中学校非常勤講師
藤原 明子	上越市立直江津東中学校	竹田 梓	上越市立南川小学校
古山 圭太	新採用	朝比奈康雄	上越市立直江津中学校

## 5月の予定

今年度のオープンスクール（学校の教育活動公開日）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら、ご案内いたします。5月公開予定だった生徒総会は、公開を中止いたします。

- 7日（金）眼科検診
- 10日（月）教育実習（～28日）
- 12日（水）～14日（金）  
教育相談
- 18日（火）生徒総会・教育相談

- 19日（水）第1回定期テスト範囲表配布
- 21日（金）英語検定①
- 24日（月）避難訓練
- 27日（木）3年生全国学力・学習状況調査
- 31日（月）学力UPWeek（～4日）

※国数英社理の5教科で、定期テストに向けて基礎基本となる内容の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。

## 緊急連絡は、PTAメールで行います

昨年度に引き続き、学校からの緊急連絡は、学級連絡網を使わずにPTAメールで行います。メールアドレスの変更がございましたら登録し直しますので、お子様を通してご連絡ください。

なお、PTAメールには、送信内容をご確認いただくと「既読」となる機能があります。確認が必要な内容は、既読機能を付けて送信することもあります。発信後、数時間もしくは翌日になっても既読とならない場合は、従来通り、学校からお電話等で再度連絡させていただくことがありますのでご了承ください。ご理解とご協力をお願いいたします。